



学校便り 9月号

かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008 里周辺海水温
発行 令和5年9月15日 責任者 校長 永野 俊也 31℃(9/9)

学校HP 学校ブログ



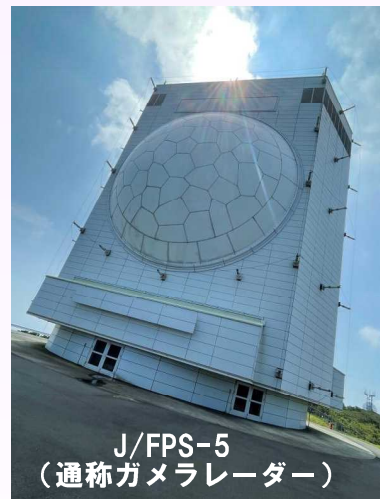
平和と学び

校長 永野 俊也

去る9月10日日曜日、数年ぶりに下甑島駐屯航空自衛隊基地の一般公開があるというので行ってきました。私が甑島に赴任し、初めてナポレオン岩を見に瀬々野浦の展望所へ出かけたことです。ナポレオン岩ではなく、反対側の山の写真を撮っている人を見かけ、「何かあるんですか???'と訪ねたところ、「ガメラ、ガメラ!」と言われ、「ガメラ?」と首をかしげたのでした。話を聞くと、日本に4台しか無い、超高性能のレーダーだということです。(レーダードームが亀の甲羅にみえるので、通称ガメラレーダーと呼ばれます)弾道ミサイルなどが発射された際、それを、各地のレーダーと協力しながら補足するなど、日本の安全を守る大切な拠点となっているそうです。このレーダーを間近に見てきました。また、基地に行くと、現在の航空自衛隊の幕僚長(空自のトップ)が、高校の同級生と知りました。若い頃の同窓会で、「お前、今どこの勤務なの?」と聞いたら、「いま千歳で、スクランブルかかる度に、F15 飛ばしてるよ。」と笑って答えていました。その彼が日本の空を守る要職にあり、彼の人柄を知る身としては、安心して、「よろしく頼むよ。」と思うのでした。



戦後78年、日本は戦争の無い平和な時代を過ごしています。平和とは、ただ願うものではないと思います。平和であり続けるために世界情勢に通じ、国際的なバランス感覚を持ち、



そして、真理を見極めつつ、自国と他国の共存を図っていかねばなりません。そのために、多くの方々は今に至るまでも、多くの努力をされてきたのだと思います。そして、これから先の未来を担う若者たちには、平和な世の中が続いていくためにも、自ら積極的に学んでいってほしいと思います。グローバル化の進む現代に対応するよう、小学校で英語を210時間学んで、中学校へ進学するようになりました。ぜひ、中学校でその活用能力を花開かせ、国際人としての感覚を養って未来を拓いてほしいと思います。また、情報化の進んだ現代では、意図的に間違った情報が流布されることもあります。何が正しいかを見極める力も、学びの中で磨かれるのではないのでしょうか。学びの中には、平和な世界へつながる糸口が数多くある! そう考え、子供たちは学びへ意欲を高めてもらいたいと思います。

昨年11月、大学研修の一環で沖縄の戦争史跡を数多く巡りました。平和祈念公園の平和の礎(いしじ)には、国籍・軍民を問わず亡くなられた方の名が刻まれています。その中で、ある方の名が目にとまりました。「この人は、確か薬丸自願流宗家の長男...」沖縄戦で、長男が戦死したとの知らせを受けた薬丸自願流当主は、「私の代で、自願流は終わりにする。」と残った子供たちにも継承することを禁じたそうです。「刀は抜くべからざるもの」を第一の教えとしていた自願流、その教えと反する戦争の中で、我が子を失った親の気持ちはいかばかりのものかと、記念誌を書いている中でこみ上げてくるものがありました(自願流は、現在いくつかのお弟子さんたちのグループが活動しています)。

まだまだ、暑い日が続きます。熱中症に気をつけ、元気に2学期を過ごしていきましょう!

R5年 全国学力・学習状況調査 結果について

4月18日、6年生を対象に実施された検査結果について報告します。(数値は正答率)



	本校	鹿児島県	全国
国語	79%	67%	67.2%
算数	66%	61%	62.5%

本校の状況は、国語が11.8、算数が3.5ポイント全国平均を上回っています。

また、今の6年生が3か月前、5年生の1月に受検した鹿児島学習定着度調査の県平均との比較を見てみても、国語 76.3% (+5.4) → 79% (+12) * () は本校と県平均の差
算数 62.5% (-4.9) → 66% (+5)

と、前回県平均を下回っていた算数の補充学習がよくなされて、成果が上がっていることがわかります。また、検査と同時に行われた児童質問紙の回答状況も、良好な人間関係の中、安心して学びに向き合っている様子が伝わる内容でした。6年生のみんな、よく頑張っています。自信を持って今後も学びに励んでくださいね。

ところで、最近のこういった検査や入試などの傾向なのですが、どの教科でも、対話の文章の中から資料を集めたり、比較したりするなどして自分の考えをまとめさせる。また、文章から数式を作り答えを求めさせ、その過程を説明させるなどの問題がとて多くなっています。要は、まず読解力が求められます。その点でいえば、里小学校の児童一人当たりの年間読書冊数は、270冊を超えていますから、今後も多くの本を読んでいくことは、すべてにおいて基礎となるはずですよ。

また、物語などの本を読むときに、時々立ち止まり、その場面を立体的に思い描いてみるという空間認知能力という能力が高まります。読書は、幼いころは絵本から入り、その世界を視覚的に認識していきますが、次第に絵や図が少なくなり、文字だけの本であってもその世界を自由に思い描き、楽しめるように育っていきます。読書は、ゲームなどの動体視力と直截的な世界とは、脳の中では対極にあります。いわゆるゲーム脳では、強い刺激を求めるようになり、豊かな創造性や発想能力が育つことの妨げになる可能性もあります。ゲームに没頭するとそういう危険があることも知っててください。読書の秋も近づきます。よき学びのためにも、ぜひ多くの本を読み、今後も豊かな力を育ててもらえればと思います。

10月行事



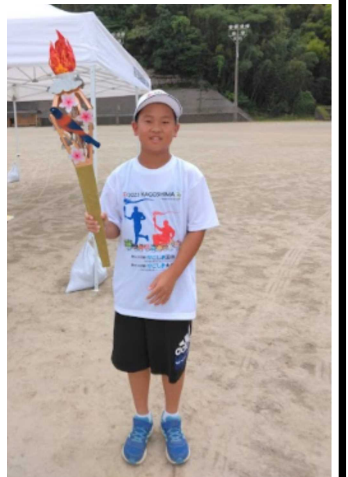
- 4日(水) 委員会活動 学校運営協議会(中津小)
- 11日(水) クラブ活動
- 12日(木) かのこゆり号来校
- 13日(金) 国体見学(6年生)
- 14日(土) 土曜授業、避難訓練(火災)
- 17日(火) 中期ふるコミュ(オンライン)
- 20日(金) 一日遠足(1~4年)
- 24日(火) 先生と語ろう週間(~26日)

二学期スタート

9月1日(金)は、2学期の始業式がありました。児童代表の言葉では、2年生の藤原颯汰さんと5年生の鮫島陽香さんが、夏休みの思い出や2学期に向けての決意などを堂々とした態度で発表してくれました。

いよいよかごしま国体かごしま大会がはじまる

いよいよ延期になっていたかごしま国体が10月7日にかごしま大会が10月28日に開幕します。ご存じの通り、先行して行われた綱引き競技には、本校体育館で練習する「里研引会」の皆さんが出場しました。また、先日行われた炬火リレーには、6年生の塩田瑞歩さんが、学校代表として参加しました。10月13日には本校6年生が入来で行われるウェイトリフティングの見学に参加します。



※ かごしま大会→全国障害者スポーツ大会

運動会応援団紹介



【赤組応援団】
 団長 西蘭 彩里 さん
 副団長 南蘭 壱咲 さん
 庵地 琴晴 さん
 長井 海空 さん
 肥後 怜太郎 さん
 馬場 彩 さん

【白組応援団】
 団長 塩田 瑞歩 さん
 副団長 小川 千咲 さん
 山下 敬斗 さん
 塩田 柚希 さん
 谷口 蒼真 さん
 齊藤 歆南 さん

